

というものであるかどうか。あるいは従前の各町内会が受けた補助的なるもの結構だということではないですか。

○四番(田村市郎君) できうむなうば 土地までを合人て何とかその補助を願ったりと、あおせいの町会の方に聞きますと、若干の備品その他でやはり町会の各位の負担もあるだろうということとは十分承知はしておりますが、何しろ馬物価の折、土地も高いもので、すから町会だけではなかなかとむずかしいということ、二つの点も宗教法人の不勸導の区画整理の土地の中に十分にお留意を理事者側にお願ひする次第でございます。

○十五番(末次性男君) そうしますと全部やってくれということではなく補助をしてもういたいということですか。

○四番(田村市郎君) でき得るならば全部やってくれただきたいということではないですか。

○議長(石川信義君) 以上で質疑を終わります。

請願第七号についてはお手元へご配付の別紙付託表のとおり総務委員会に付託をいたします。

○議長(石川信義君) 次に日程第十二、請願第八号正月二日三日

並に祝日の郵便配達禁止に関する請願書を議題といたします。

事務局長をして請願書の朗読をいたさせます。

(古谷議会議務局長 朗読) 省略別添参照

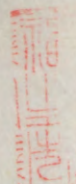
○議長(石川信義君) 以上で朗読は終わりました。

紹介議員大野行夫君から体主旨の説明を求めます。

(十九番 大野行夫君 登壇)

○十九番(大野行夫君) ただいま局長から朗読がありました請願八号でござりますが、另使の間にあきましても昨日のニュース等でもかなりこの問題については着詰まった話が進行してあります。内容のとおり、やはり二日、三日等につきましても、これを家庭におその団らんを過してしまいたい、われわれの立場と同じ、やはり考えました。本請願を採択願いますようお願ひいたしまして、補足説明といたします。

○議長(石川信義君) 以上で紹介議員の主旨説明は終わりました。



これより本件請願に対する質疑を行ないます。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（石川信義君） 以上で質疑は終わります。

請願第八号については、お手元にご配付の別紙付託表のとおり総務委員会に付託をいたします。

○議長（石川信義君） 次に日程第十三、請願第九号福生市の

教育諸条件の改善に関する請願書を議題といたします。

事務局局長より請願書の朗読をいたさせます。

（古谷議会事務局長 朗読） 省略別添参照

○議長（石川信義君） 以上で朗読は終わりました。

紹介議員大野行夫君から本旨の説明を求めます。

（十九番 大野行夫君 登壇）

○十九番（大野行夫君） ただいま局長から朗読がござりました。義務教育費の市員担の問題でございます。やはり、わが市におきましては本年度より小学校一年生を対象として、国庫に対する補助を出して

いただくと、このような方向に進んでありますこととまず感謝申しあげまして、あえてこの三点につきましてお願いしたいというところは、

憲法ではっきりうたっております。義務教育費の問題が、下から

くるに従って、それが大きく父兄の負担に変わっていくのが現状

でございます。父兄の負担する私費の現今の物価の高騰によりまし

て、相当大きな生活の面におきまして、家庭に圧迫を加えてる現状でござ

います。まずこの点につきましてわれわれが伴に反省、また応援し

ていかなければならないと感ずるものでございます。教材の問題にいたしま

しても、また校外学習、映画教室、音楽教室等の費用、これも

現在におきまして私費負担という現状でございますし、要務員等も

また事務員等につきまして、市の融通範囲の中でこれをやは

り増員してやっていたきたい。また専門の耳鼻科等の夜医

ににつきましては、当市にはこれだけの医師はいろいろと少ないかもし

れませんけれども、これを都と連携を取りながら、やはり生徒に対する

健康診断というものは特に留意をいたしました。ましてわが市は

三月の二十八日の定例議会におきまして、健康都市宣言もなされてお

ります現状にあきましくは、どうかそういう点から市民の健康、特にこれから世代をなつていく青少年の健康というものを留意されまして、本請願の採択くださるようお願いいたしまして補足説明とさせていただきます。

○議長(石川信義君) 以上で 紹介議員の主旨説明は終わりました。これより本件請願に対する質疑を行ないます。

○二番(小林菊三君) 私もこの主旨については同感であり、別に反対はございません。しかし、少くも市には教育委員会という一つの諮問機関があるにもかかわらず、こういう請願があるということは、普段教育委員会と学校との間とてうまく話合ひがついていないのではなかと感ずるのでありますが、その点について紹介議員の方から説明願ひたいと思ひます。

○十九番(大野行夫君) 小林議員のご質問にお答えいたします。小林議員さんのおっしゃるとおり、なかなかうまくいってないのが現状ではないかと思ひます。そこで教育委員会をこやかということは、これはちよつと失礼と思ひますので、細部の点については申しあげませ

んけれども、その辺は市当局と教育委員会当局が一つ中に立ちまゝ学校と教育委員会の問題を解決していただきたい。このようなお容弁でご理解いただきたいと思います。これ以上入りますと個人的なちよつと問題があると思ひますので、よろしくお願ひ申し上げます。

○一番(貫井喜代次君) ご無理なご質問でござんす。しかしこれが審議されるのが総務委員会になるかどうか、そういうことはまたわかりませんけれども、内容的にそうなるかとは思ひますけれども、内容的にそうなるかとは思ひますけれども、ここへうたあれてあります。年々増加している教育費の父母負担ということでご存じですが、このことについて今後これを審議して頂くにあつて、またそういうことも必要かと思ひまして、一般日常経費の家庭にみける物価高等の動向増加、そういうようなことをからみ合わせてこういったことを審議して頂くにあつても、たとえば前年と、あるいは前々年度とどのくらいの負担増があるか、そういうようなことがあつたら、そういう資料を採つてみられましたら、どのくらいの負担が増えたとあるかということもお聞き願ひすれば、これを審議して頂く上にもいいかなと思ひます。

人ですけれども、もしですけれどもありましたらどんな点かどのくらい負担増になろうかお聞きしたいと思っております。

○十九番(大野行夫君) 貫井議員のご質問にお答えいたしますが、ちよつと資料が不足して申し訳ないと思っておりますが、本年の四月の要するに一年生に入塾する時に、大体使用する副読本、教材と申しまゐるか、そういう費用というのは約千四百円、約千五百円くらいかかるとは思ひます。それがまず一年生に上がる時に、一応父兄が負担してそれを生徒に当てていく教材でございまして、それから二年、三年、四年とたつうち、と同時にその間でまたそのつど必要ないろいろな問題が起こります。そうしますとやはり一年生に上がった時に、どうしても父兄が負担するのはそういう面だけでも、約三千円くらいになる人々やなつかとそういうような計算が、出たわけでございます。ただちよつと古い資料でございすが現状におきましては四十九年度の制度については、まだ私のほうも調べておりませんが、参考になるかどうかよろしくお願ひいたします。

○一番(貫井喜代次君) 有かとうございました。

○四番(田村市郎君) 大野議員さんにちよつと一言お聞きします。

三番の耳鼻科眼科の専門医を校医として配置するということでございますが、私も総務委員で、予定では総務委員会に付託といたしてございしますが、お尋ねしたところは都下でも、どこかの学校で何校ぐらいかこういうふうな専門医を校医として配置してあるかどうか、その点一つ何校ぐらゐるかということをお尋ねしたいと思ひます。

○十九番(大野行夫君) ちよつとくわしい資料は忘れましてけれども、三多摩市二十六市の中でも、やうあるところはあります。たぶん北多摩方面の三鷹、武蔵野、あの辺だったと思ひますけれども、やういふところはあったと思ひます。

(「了解」と呼ぶ者あり)

○議長(石川信義君) 以上で質疑は終わります。

本請願第九号についてお手元の配付の別紙付託表のとおり総務委員会に付託をいたします。

○議長(石川信義君) 次に、日程第十四陳情第七号市道拡張に
関する陳情書を議題といたします。

事務局長を朗読をいたさせます。

(古谷議会事務局長朗読) 省略別添参照

○議長(石川信義君) 本陳情書について、ご意見がありましたら
伺わうと思っております。

(応答なし)

○議長(石川信義君) ないようでござりまするので、本陳情書第七
号については、お手元の配付の別紙付託表のとおり建設委員会
に付託をいたします。

○議長(石川信義君) 次に、日程第十五陳情第九号建設主要資材
の高騰に伴う対策に関する陳情書を議題といたします。

事務局長を朗読をいたさせます。

(古谷議会事務局長朗読) 省略別添参照

○議長(石川信義君) 本陳情書について、ご意見がありましたら承て

おきたいと思っております。

○十九番(大野行夫君) 本陳情について、慎重に担当委員会を審
議いただけて、やはり現在の経済情勢を考慮してすみやかに
応援するものは応援して頂くべきではないかと思っております。その点
をお願ひいたします。

○議長(石川信義君) 以上で、意見は終わります。

陳情第九号については、お手元への配付の別紙付託表のとおり総
務委員会に付託をいたします。

○議長(石川信義君) 次に、日程第十六及び日程第十七を一括して
議題といたします。

日程第十六陳情第八号民間日雇労働者の年末手当支給に
関する陳情書、

日程第十七陳情第十号 年末手当等に関する陳情書、
二件を一括して議題といたします。

事務局長を朗読をいたさせます。

議百二十 請七 請八 請九 陳七 陳九 陳十八 議百十八 議百十九

式字訂正

(古谷議会議事務局長 朗読) 省略別添参照

議長(石川信義君) 以上で 朗読は終わりました。

本三件につきまゝ、ご意見がありましたらご発言を求めます。

○十番(松山 清君) 陳情第十号については、今度には委員会付託

となるような形になつておりますけれども、十分委員会におまゐり

陳情書に一つ一つ審議してこれらの人たちの要望なりをお願い

したいと思ひます。

議長(石川信義君) 以上で 意見は終わります。

陳情第八号及び陳情第十号はお手元にご配付の別紙付託

表のとおり、建設委員会に付託をさせていただきます。

議長(石川信義君) おはかりいたします。委員会審議のため

明十三日から二十四日まで、十二日間休会したいと思いますと思ひますか、これ

に同意議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

議長(石川信義君) 異議なしと認めます。よろ 明十三日から二十四日

福生市議会

式字訂正

まで十二日間 休会することになりました。

なお 議事本会議は十二月二十五日午前十時から開きます。

次回

議長(石川信義君) 以上をもち 本日の日程は全部終了いたしました。

本日は おれをもち 散会をさせていただきます。

午後二時三十分 散会。



福生市議会

大	田	中	岩	塩
野	村	曾根	田	野
行	市			
夫	郎	実	博	鉄之助
印	印	印	印	印

長い間懸案とされていた福生駅東口開発も市当局及び市議会諸先生方の日夜の御努力で一部実施の運びと相成つた事に対し深甚なる敬意と感謝を申し上げます。

さて私達の本町七町会は、原ヶ谷戸と八町会にはさまれ、東は横田基地西は青梅線を境に約五〇〇世帯、人口一千五〇〇有余人で構成され未加入世帯も相当あり、開発に依り益々増加する事が必至と考えられる次第であります。

而し乍ら当町会では住民の寄所とする集会所も無く現在不動尊寺院及び民家を借用致し諸会合、諸行事を行つておりますが、其の度毎に迷惑をかけ非常に不便をきたしている次第であります。まして子供達の遊び場として不動尊境内の一部が市の福祉行政に基づき砂場及び遊具が設置されておりますが、見知らぬ車が多く駐車しており、これについては遊園地に対する環境が非常に悪く、青少年の非行につながる問題もしばしば起つており、町会でも頭をなやましている次第であります。

又当町会は駐留軍の出入が多く基地関係者の娯楽場として以前は赤線地区とまで呼ばれ其の為に当町会一般居住者も種々の面で犠牲も多くあつた事は一般社会の認める所と存する次第であります。

この度関東計画に基づく横田基地集約に伴う周辺対策費が交付されるとの話を拝聴致し

早速理事会に出した所、東口は特に該当地区であるとの意見が全員一致でありました。つきましては老若男女に至る福祉的役割と図書館的役割をもつ住民集会所を設置していただき度く存じますので、福生駅東口住民の心情をとくとおくみとりいたゞきますよう、ここに請願致す次第であります。

昭和四十八年十二月十一日

請願者代表

福生市福生七九八番地

小林 三郎 印

外 七三九名

福生市議会議長

石川 信義 殿



請願第八号

正月二・三日ならびに祝日の郵便配達廃止に関する請願書

紹介議員

岩田

博印

大野

夫印

関米

吉印

郵便事業は、明治四年に創業されて以来、幾多の郵便労働者の血と汗により、郵便物がより安全に、確実に早く届くよう営々と努力されてきました。そのかげには、郵便局員が日曜、祝日も、正月も休みなしで働きつづけ、とくに最近では、著しい郵便物の増加、交通地獄、光化学スモッグによる公害などによつて、労働条件が一層悪くなつていゝるなかで、身を削る努力がはらわれています。私たちは、郵便局員の労働条件を改善し、より一層、郵便事業のサービス向上が期せるようにする必要があります。そのために、正月三が日に、家族とともにすごせない、祭日にも休めないという状況を、早急に改善し、郵便労働者の生活を安定させることが急務と考えます。とくに、年賀はがきの配達について、元旦の配達とはかく、二日、三日は、必らずしも配達されなくても、不便ではないと思いますので、ぜひ、正月二日、三日の配達廃止を実現させ、祝日についても、ほとんどの企業、官庁は休みとなり、速達郵便を配達すればサービスダウンとはならないと考えますので、家族とともにだんらんできる、世間並の生活を、実現させたいと思います。

郵便労働者が、人間なみの生活をとるもどし、郵便サービスにまい進できるよう、私たちのこれらの要望をご理解いただき、貴議会において、正月二日、三日ならびに祝日の郵便物配達廃止のご採択下されることをお願いいたします。

昭和四十八年十二月十一日

請願者代表

福生市福生六九一

小林安宅 印

外 三十五名

福生市議会議長

石川信義殿